

さんさんクラブ みやざき



健康・友愛・奉仕

平成25年度

第125号

平成26年2月10日発行

■公益財団法人
宮崎県老人クラブ連合会
宮崎市原町2-22
TEL(0985)25-7800

■発行責任者 松元 道文

単老写真報告

宮崎市老連
東花ヶ島平寿会老人クラブ
会長 高橋一郎
会員 60名



▲血回しをする会員

チエツク

私共、東花ヶ島平寿会老人クラブは力足らずの小会ではありますが、毎年、綱引き大会、グラウンドゴルフ大会、もちつきなどほとんどの行事を東花ヶ島自治会及び東大宮ひばり（通い、泊まり及び訪問施設）と連携し、実施しております。

昨年も「老人の日」、「老人週間」に合わせ9月21日、花ヶ島自治公民館で行われた東大宮ひばり主催の敬老会に会員が参加し、日ごろから練習を積み重ねてきた「血回し」（代表 清島茂弘さん（91歳））と「青梅ひょっとこ踊り」（代表 婦人部長 菊池智恵子さん）を披露しました。おかげで、普段の練習が実を結び、失敗もなく観客からの拍手喝采を浴びました。

今後も、このサークル活動を通してクラブ全体の活性化につなげるよう東花ヶ島平寿会の旗印（写真左端）の下、会員一丸で「絆」を保って頑張っていこうと思っております。

● 作品展示会

100歳で特別賞受賞 富岡マツエさん

…… P 3

● 市町村役員等研修会を開催

全老連 齊藤秀樹事務局長来県

…… P 7

第47回さんさんクラブ宮崎 作品展示会が開催される



▲オープニングセレモニー

会員の豊かな知識と優れた技能を生かした創作活動の成果を一堂に展示し、地域社会及び会員相互の交流を目的とした、第47回「さんさんクラブ宮崎作品展示会」は、今年度も県立美術館県民ギャラリー1で12月5日から7日までの3日間で行われました。

今年度は、県立美術館で開催されて2回目とあって、知名度も加わり、観客数は一般観客を含めて昨年の1,300名を上回り約1,500名となりました。作品は、絵画45点、彫刻12点、工芸84点、書44点、写真25点、手

芸226点、その他2点の438点の出品があり、いずれも力強さの中に緻密に計算されたすばらしい作品ばかりでした。この中から、宮崎県知事賞等11部門の特別賞などが各部門の先生方による厳正な審査に基づき、次のように決まり、表彰式は、知事賞が昨年の12月13日「宮崎ねりんフェスタ」(「メデイキット県民文化センター」)でその他、宮崎県議会議長賞などの特別賞は、同8日美術館アートホールで行われました。

なお、文化伝承を図るための体験コーナーは、期間中の7日に県立図書館で併せて行われました。



▶審査の様子



宮崎県知事賞



【絵画】 あざみ

坂元スミ・77・女・日南市



【彫刻】 蛇

牧野重義・84・男・延岡市

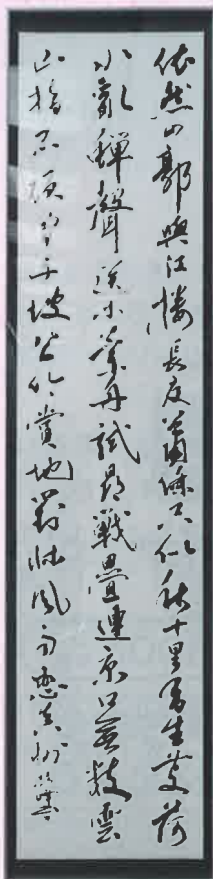


【工芸】 熊本城

大城戸昭六・85・男・小林市

【手芸】 パッチワーク

井川ヤスエ・80
女・延岡市



【書】 王漁洋詩

高妻純一・82・男・宮崎市

宮崎県議会議長賞

絵画 東 潔 75 男 宮崎市
工芸 奥 次男 78 男 綾町
書 植野 幸雄 88 男 日向市
手芸 山内 ミネ 92 女 串間市

宮崎県社会福祉協議会賞

絵画 青島 勝 87 男 日向市
工芸 川崎 福義 74 男 延岡市
書 梶原美知子 87 女 日向市
手芸 椎葉ハルカ 89 女 高千穂町

宮崎県物産貿易振興センター理事長賞

書 富田 穰 84 男 延岡市
写真 日高 廣志 76 男 串間市
手芸 宮本タツ子 90 女 木城町

宮崎日日新聞社長賞

絵画 山岸 宣義 86 男 宮崎市
書 西ノ蘭壽三 76 男 小林市
手芸 裕元 温子 78 女 宮崎市

宮崎放送社長賞

絵画 綾部 閑彦 81 男 宮崎市
工芸 稲田 利昭 81 男 国富町
手芸 奈須 廣 77 男 延岡市

テレビ宮崎社長賞

工芸 馬渡 重彦 65 男 三股町
書 黒木 延子 84 女 木城町
手芸 甲斐香代子 82 女 美郷町

宮崎ケーブルテレビ社長賞

絵画 高田 忠 82 男 延岡市
工芸 工藤 武人 69 男 延岡市
手芸 緒方 恵子 76 女 国富町

宮崎交通社長賞

書 田村 幸子 81 女 宮崎市
手芸 黒田サク子 97 女 諸塚村

宮崎県老人クラブ連合会賞

彫刻 亀元 経義 77 男 都城
工芸 高橋 常晴 71 男 高鍋町
写真 染矢 敏雄 72 男 宮崎市
手芸 進藤ミチ子 91 女 川南町
手芸 富岡マツエ 100 女 新富町
手芸 西野 フミ 91 女 えびの市
手芸 尾崎美代子 82 女 日向市
手芸 酒井 和子 86 女 西都市
手芸 永山ヒデ子 88 女 宮崎市
手芸 新名 文江 88 女 都農町

努力賞

絵画 土屋 健一 90 男 宮崎市
絵画 伊藤 安夫 84 男 新富町
絵画 落合 洋子 87 女 宮崎市
絵画 川崎 光雄 81 男 都城
絵画 福永 ヨシ 82 女 三股町
彫刻 今井 信興 74 男 宮崎市
彫刻 榎屋 努 77 男 日南市
工芸 尾崎 正男 72 男 高鍋町
工芸 川越 重晴 64 男 宮崎市
工芸 坂本 久雄 88 男 木城町
工芸 二宮 孝雄 72 男 日之影町
工芸 浜砂スエ子 78 女 宮崎市
工芸 平川 正利 76 男 都城
工芸 村上 栄 82 男 日南市
工芸 矢野 幸子 77 女 串間市
工芸 矢野 充宏 82 男 高鍋町
工芸 吉原 勇 82 男 都城

栄誉賞

書 内村 仁子 70 女 都城
書 川口 鈴子 72 女 延岡市
書 佐藤ミチル 82 女 川南町
書 高原 永子 75 女 綾町
書 前田ヨネ子 84 女 小林市
写真 上本 浩二 74 男 延岡市
写真 関屋 忠実 75 男 宮崎市
写真 渡辺 命平 82 男 日向市
手芸 森 ミヤ子 97 女 川南町
手芸 赤川美栄子 68 女 小林市
手芸 荒川 郁子 80 女 宮崎市
手芸 荒ヶ田ミチ子 76 女 都城
手芸 加藤 榮 87 男 小林市
手芸 河野としえ 82 女 都城
手芸 黒坂ハツ子 78 女 三股町
手芸 小玉 博江 89 女 日南市
手芸 小松よし子 88 女 都城
手芸 篠原セツ子 88 女 木城町
手芸 関谷 都 84 女 西都市
手芸 田中 和子 83 女 宮崎市
手芸 西ノ蘭ヤス子 72 女 小林市

アイディア賞

工芸 黒木 良夫 77 男 都農町

奨励賞

手芸 城屋敷高齢者クラブ 門川町

高齢者賞

手芸 富岡マツエ 100 女 新富町
手芸 黒田サク子 97 女 諸塚村
手芸 森 ミヤ子 97 女 川南町

無鑑査

手芸 竹内タツミ 94 女 三股町
工芸 杉本 実 94 男 西都市
書 田中 高穂 93 女 日南市
絵画 黒木サヨ子 92 女 日向市
手芸 山内 ミネ 92 女 串間市
手芸 甲斐フサエ 92 女 延岡市
手芸 谷口トシエ 92 女 川南町
手芸 米倉 千代 92 女 日南市
その他 中武 雅周 92 男 西米良村
書 田村 清 91 男 宮崎市
手芸 進藤ミチ子 91 女 川南町
手芸 西野 フミ 91 女 えびの市
手芸 井上 美代 91 女 西都市
手芸 河野 文幸 91 男 日南市
手芸 黒木アキノ 91 女 都農町
手芸 永友 芳子 91 女 川南町
絵画 白間 利子 90 女 宮崎市
絵画 土屋 健一 90 男 宮崎市
工芸 角井 利男 90 男 えびの市
工芸 川口フミエ 90 女 美郷町
写真 松浦 義貴 90 男 宮崎市
手芸 宮本タツ子 90 女 木城町
手芸 川原スミ子 90 女 宮崎市
手芸 井上千恵子 90 女 美郷町
手芸 田村 保 90 女 美郷町
手芸 和田キヨミ 90 女 西都市

無鑑査

絵画 白間 利子 90 女 宮崎市
絵画 谷口 浩子 88 女 都城
書 佐伯 常子 87 女 宮崎市
工芸 上久保正信 82 男 都城
手芸 川崎キミ子 81 女 えびの市

無鑑査は特別賞を5回受賞された方

今年度も図書館で「しめ縄」と

「きじ車」会場は大賑わい

作品展示会の最終日の7日(土)には、図書館に体験コーナーを設け、都城市高連から長友清三さんを始め3名による「しめ縄づくり」、また、「きじ車」は、くらしの名人で佐土原町伝統的工芸保存会に所属する宮崎市老連の兵頭正一さん以下5名で絵付けなどの指導をいただきました。

いずれのコーナーでも、図書館に訪れた一般の方、学生を始め多くの子供たち、また、都城市高連及び日南市高連の会員がわざわざ図書館まで足を運び、絵付けやしめ縄づくりに挑戦していました。一時は会場がごった返りで、指導者の方も全部に対応できないとどうれしい悲鳴。



作品展示会最高齢出品者
インタビュー
富岡マツエさん(100歳)
(新富町老人クラブ連合会)

所属老人クラブは

岩脇(いわなぎ)老人クラブ(会長宇都宮正昭)に加入しています。

いつごろ老人クラブに加入されましたか

ずっと前で、いつごろ入ったかわかりません。

編み物はいつごろからは始められましたか

60から70歳ごろに始めました。

きっかけは

友達が福祉センターのサークル活動で教えてくれると言って連れていってもらった。

それまでは

農業で米づくり、野菜作りでそれどころではなかった。

いまはどんなものを編んでいますか

毎日セーターなどを編んでいます。これまで息子や娘や孫、友達にも編んであげています。前には、たわしを1000枚作りました。

今回、受賞されたセーターはどれくらいかかったのですか

20日から1月ぐらいいですかね。

今着ておられるのが、県老人クラブ連合会長賞を取られたものですね。100歳を超えて特別賞を取られてるというのはめったにないことですが……。

ありがたいことですが、なにもわからん……(^^)。

こうして編み物をしておられるのは元気な証拠ですが、どこか悪いところはありませんか

耳が少し悪いですが、身の回りのことは一切自分でします。

なにか秘訣がありますか

なんで長生きしているのかわからん(^^)。三食は必ず食べます。くよくよしない、何も考えない無心がいいのかもしれない。

100歳を振り返って

いろいろありすぎて思い出せない。30代の時主人が県病院に入院して子供を連れて通ったことを思い出します。

これからは

頼まれたものがいっぱいある。それを作る。



平成25年度

宮崎市「老人クラブ活性化フォーラム」開催

さんさんクラブ宮崎市(会長 松元道文)は、平成26年1月21日(火)、宮崎市民プラザで老人クラブ活性化フォーラムを開催しました。

会員減少や単位クラブ解散の傾向に歯止めをかけることを目的に講演会とパネルディスカッションで、組織強化の方策を考えることにしました。

はじめに、「今、老人クラブの役割と活性化について考える」というテーマのもと、当初予定していた宮崎大学戸島教授に代わって同教室の出口奈未さんが、先に県老連が実施した「老人クラブ活動に関するアンケート調査」結果の内容をパワーポイントで紹介しました。続いて県老連小川事務局長の司会により、5人のパネラーから「魅力的なクラブづくりに必要なこと」

というテーマに沿って議論が進められました。まず、会員代表からは「既存の組織の枠をこえて多様な活動形態を工夫してどうか。」自治会代表者からは「信頼関係の構築に努め、連携を更に強化することが大切だ。」マスコミ代表者からは「地域社会に向けて情報を発信して欲しい。」更に行政代表者からは、「老人クラブの存在価値は大きく、会員増強に努めて欲しい。」などとそれぞれの立場から貴重な提言がなされました。このフォーラムが老人クラブの基本的な役割を確認し、課題について考える良い機会になりました。



市町村老連50周年を迎えて

綾町高齢者クラブ連合会

会長 永山英男

綾町の高齢者クラブは、老人福祉法が制定された昭和三十八年十一月に発足しました。それ以来五十年の歴史とこれまで先人の自主自立を旗印に「健康・友愛・奉仕」の精神を基調とした多彩な取り組みをしてきました。それは伝統に裏打ちされた強固なものであり、今日では当連合会は町内最大の会員数を誇る素晴らしい団体となっております。

しかし、会員数は現在20地区のクラブに698名となっており、65歳以上の加入率は29・8%で年々減少しているのが現状です。このことは全国的な傾向で、一人が一人の会員を勧誘する運動をしておりますが、なかなか思うようにいかず苦慮しているところです。

連合会の取り組みとしては

◇保健師・看護師・栄養士の協力を得て20地区を毎年一回は出向き健康講座や食事の指導を行っています。

◇また、スポーツ大会も40回を超えました。最近ではグラウンド・ゴルフ熱も高まり、高齢者唯一の楽しみとして健康維持のためのスポーツとして定着してきています。

◇友愛活動については会長を中心に、女性部長、シルバードランティアが「共に支え共に生きる」という相互扶助精神で愛の手を差しのべ、愛の暑中見舞いや、年賀状を出し20年間にわたり活動しています。

◇奉仕活動については、各地区内や町公民館周辺の清掃、その他、竹ぼう

き・雑巾を持ち寄り町内各施設に配布して有効に活用されています。

◇5円玉募金も高齢者クラブ会員の貴重な浄財をいただき歳末助け合い・赤十字募金・災害時の義援金として活用しています。

◇世代間ふれあい事業については、町有地20アールを借用し10アールをさつまいも畑として保育所・幼稚園・小学校の子どもたちと生産活動を実施しています。残り10アールは蕎麦の栽培を行っています。

◇伝承活動として「ねんりん味噌づくり」を行い、会員に販売し喜ばれています。

◇昨年は町制80周年記念の年であり、特別企画として綾町に若者呼び込もうと「綾町で愛を育む恋活イベント」を開催しました。

◇研修については、シルバードランティア研修会、高齢者大学、会長・女性部長先進地一泊視察研修なども実施しています。

以上綾町高齢者クラブの一端を記述

しました。が、今後、さらに楽しく活力のある魅力的なクラブづくりに邁進する覚悟であります。



小林市老人クラブ連合会

会長 福嶋 昭

小林市老人クラブ連合会は、昭和38年10月に発足し、その後、平成18年4月に須木村及び平成22年4月に野尻町と合併したことを機に、それぞれの老人クラブ連合会も合併し、今年で50周年を迎えることになりました。

現在では、クラブ数66、会員数3,320名の組織となっております。当連合会は、合併後も小林地区、須木地区及び野尻地区がそれぞれの地区の特徴を生かした活発な事業運営を展開しております。

さて、当連合会は、全老連が提唱する「健康、友愛、奉仕」の精神に基づき、長きにわたり健康づくり、高齢者相互の友愛活動、奉仕活動等地域社会の向上を目的として多くの事業運営を重ねてきました。この50年にわたる活動を思い出す時、今日までにご尽力された先輩諸氏に深甚の感謝を申し上げます。

ところで、当連合会の拠点として親しまれてきた「百歳会館」(小林市老人クラブ福祉センター)が老朽化と狭小駐車場のため改善の時期を迎えました。このため小林市では、旧県立小林商業高校跡地に新しい老人福祉センターの移転を計画しているようです。

50周年記念の節目の年に、こうした朗報があることは、これからの老人クラブ連合会の活動をさらに前進させることになると確信し、今後、鋭意努力し、これまで築いてこられた先達の方々の業績を引き継ぎ、さまざまな事業を展開するなかで、心豊かな生きがいのあるまちづくりに取り組み、当連合会の更なる発展に努力をしたいと思っております。

(副会長 田中 悟)



▲昭和44年4月 センターの開設式(このとき70歳の方は115歳を迎えることとなります。)

▼平成25年12月 三役研修会



町クラブ会
千人合
高老連

「年齢を重ねて絆を強める活動を」

会長 田崎 篤志

高千穂町は、県北部に位置し、熊本県と大分県に接しています。米・牛の生産はもとより、地域の特性を活かした高冷地野菜を始め、きんかん、花卉、林産品など多角的な生産が行われています。また、景勝地高千穂峡に並び神話の里としても広く知られ、観光地ならではの「おもてなし」の心が発揮されています。

当連合会の組織は、現在36クラブ、会員数約1,700名で活動しています。近年当会においても会員が減少傾向にある中、休止中だったクラブから、2クラブが復活して、未組織地域を含め大変勇気付けられたところです。

今年の4月には県内の連合会と同様、先達の汗と苦労と歴史の継続により結成50年の節目を迎え、更なる



▲いきいきクラブ体操で準備運動

飛躍発展を期するため記念行事を開催し、功労者の表彰や記念講演、会員による演芸大会など連帯

と前進を確かめ合う機会となるようにしたいと思っております。

さて、当連合会の数ある年間行事のいくつかを紹介すると、老人大学講座は今年度で43回を数え、多数の卒業生を輩出いたしました。その他単位クラブも含め講演会・研修会を実施し、健康増進や引きこもり予防など支えあいや安全安心な町づくりの参考となっております。また、町老連スポーツ大会は例年700名余りの参加を得て、午前の各種競技と午後のクラブ対抗芸能大会は交流・親睦に効果を発揮しています。老人作品展では、町・町教育委員会の支援を得て、趣味を活かした工芸民芸品・写真・絵画・生け花など、いきがいの場としての輪を広げています。また、これらの作品の中から県立美術館で行われる県の作品展示会にも出品しております。

今後とも、先達が残した50年の数々の想いを胸に、仲間作りを通じてのいきがいと健康づくりを基本に、新規会員加入の呼びかけ、未発足クラブ・休止クラブへの働きかけなど、会員の体力・リズムにあわせ活動のさらに前進できるよう、取り組みを強化していきたいと考えています。

(高千穂老連 副会長 内倉寛一)

平成25年度「老人の日・老人週間」、「社会奉仕の日」活動報告便り



▲宮崎市巨田さんさんクラブ 道路清掃



▲小林市秋社川やまびこ会 草刈り・除草



▲日向市日向台やまびこ会 公園清掃・草刈り



▲木城町国宝老人クラブ 国宝神社清掃



▲高千穂町下押方神都会 花壇草取り



▲都城市高崎地区蔵元高齢者クラブ 公民館・道路清掃

単位クラブ紹介

門川町高齢者クラブ 南町1区百年会 会長 黒木利男

～仲良く、楽しく、元気よく～

南町1区百年会は、門川町役場から南下し五十鈴大橋を渡ってすぐ日向市北部と隣接する海辺の位置にあって、大変住み良い地区と自慢しています。と、いうのも近くに複数の医療機関、簡易郵便局、町総合文化会館等があり、また、国道10号線が走っており、宮崎交通バスも数多く運行して便利です。

一方、今、話題の多い南海トラフによる巨大津波が発生した時の避難場所としては、地区内にある日向病院5階屋上と、海拔20mはある近隣の潤島神社の境内があります。昨年は、境内に行くまでの石段の整備や新たに東側と西側の両方から通れるよう道路が施工され、住民の安心安全の地区となっております。

それでは私たち「百年会」のクラブ活動を紹介します。

- ①毎月第4水曜日の資源ごみ回収日の立ち合い指導を2箇所を実施。
- ②各家庭からの空き瓶回収。この①と②で得た益金はクラブ活動資金の一部となります。
- ③月2回、集会所で2時間ほど体操と卓球パレー実施。

④公民館広場では週3回、月水金と火木土の2組に分かれてのグラウンドゴルフ。これが実を結んだのが県が主催する第12回さんさんクラブ宮崎スポーツ大会では個人優勝、団体も好成績でした。

⑤登下校時に交差点等で子ども見守り活動の実施。

⑥年に1回のお楽しみ日帰り旅行は、バス1台がいつも満員です。

この他にも年間を通して活動をしておりませんが、会の現況は、多い時からすると会員が20名程減少し、現在約60名です。日頃から地区行事等には会員が積極的に参加し、区長さんからも定例会等で1人でも多くの会員加入をと「呼びかけ運動」をしていただいております。

むすびに、優良老人クラブとして平成16年に宮崎県知事表彰受賞、平成25年に門川町長表彰受賞しました。これからも会員一同仲良く、楽しく、元気よく活動していきます。



▲登校時見守りの様子



▲公民館広場にてグラウンドゴルフ

県老連では、県内全市町村の老連役員、女性部長、老連活動を担う若手リーダー、事務担当者等約130名が参加して平成26年1月14日(火)宮崎県福祉総合センターにおいて市町村役員等研修会を開催しました。

会員・クラブ数が年々減少してきている状況にあることから、会員の増加と老人クラブの活性化を図り、組織を再強化する目的で開催したのですが、全国老人クラ



▲齊藤秀樹全老連事務局長の基調講演

**市町村役員等研修会を開催
全老連が「100万人会員増強運動」を提起**

ブ連合会齊藤秀樹事務局長から基調講演で「全国の老人クラブで『100万人会員増強運動』に取り組もう」との提起がなされました。続いて県老連からは、平成24年度に実施した単位クラブ会長・未加入高齢者に対して行ったアンケートによる意識調査と県老連内に設置した「会員加入促進若手検討委員会」の検討結果をまとめた「提言」の報告を行い、参加者全員で全市町村をあげて早期に会員増とクラブの活性化のために具体的に取り組む決意を確認し合いました。



こんなのアリ！？と思ったら・・・
あきらめないでまず相談！！
消費生活センターからのお知らせ
こんな手口に
気をつけて！ **あやしいもうけ話**

突然A社から社債やダイヤモンドなどの購入勧誘パンフレットが送付され、別のB社から「自分の代わりに買ってくれたら倍の値段で買い取る」などと電話をかけてきてお金をだましとる詐欺的商法に関する相談が後を絶ちません。

実際に倍の値段で買い取られた例はありません。よく分からないもうけ話には反応しないようにしてください。

消費生活に関するご相談は
県消費生活センターへどうぞ
宮崎 Tel. 0985 (25) 0999
都城 Tel. 0986 (24) 0999
延岡 Tel. 0982 (31) 0999



**あ
と
が
き**

◇年が明けて早2月、平成25年度も残すところ1月あまり。振り返ると本当に、速い。県老連の主な行事は、理事会、評議員会を残し、すべて終了した。この1年間は、会長さんを始め役員や会員の方々、そして除で支えていただいた事務局の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

◇今年度最後の老連だよりは、昨年末に行われた作品展示会の内容を中心に掲載しました。いつもながら、その作品の出来映えのすごさに、ただただ感激。

◇同時に行われた文化伝承体験コーナーでは子供たちも参加し、ギャラリーがいっぱい。

◇この作品展示会もあと3年すると50周年になります。伝統と歴史の重さを感じつつ、ますます発展するよう願ってやみません。

◇ちなみに、昨年、38年に発足して50周年を迎えた老連が6、今年が9老連となります。38年、39年がピークであったことがうかがえます。

◇50周年以外にも各老連からたくさんのご投稿をいただきありがとうございます。

◇さて、いよいよ消費税が4月から3%アップします。我々高齢者にとってどう影響するか心配の種。加えて高齢者をターゲットにした悪質商法や詐欺そして、交通事故など心配事は山積してあります。会員のみならず、老人クラブが開催する場合には積極的に参加し、情報を得ることが肝要かも・・・知れませんがね。

◇平成26年度は、会員の減少に歯止めをかけるのみに終わらず、会員の増加に転じ、ますます老人クラブの充実を図れるよう各市町村老連との連携を図りながら進めたいものです。

愛ちゃんと希望くん



この「県老連だより」は
共同募金会の配分金で発
行されています。

お願い!!

あなたの隣の人に
老人クラブに加入するよう声をかけてみてください。
●問い合わせ
宮崎県老人クラブ連合会 (0985)25-7800

老人クラブ会員の皆さまへ

平成24年7月1日改定

〈平成24年6月1日以降のお申込みから適用〉

老人クラブ傷害保険

手頃な掛金で充実の補償、
あなたにピッタリのタイプは

ど・ち・ら?

クラブ活動型

クラブの行事や活動によく出かける
という方におすすめ

年間掛金 500円・1,000円・2,000円

総合型

〈クラブ活動型〉+ 〈24時間型〉

24時間いつでも、どこでもケガが心配
という方におすすめ

年間掛金 3,500円・5,000円・10,000円

全国老人クラブ連合会 保険係

03-3597-8770

受付時間 9:30～17:30
(土、日、祝祭日休)

〈取扱代理店〉 有限会社 シニアサービス社 電話番号 03-3597-8768
FAX番号 03-3597-8767

〈引受幹事保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社
(担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課 電話番号 03-3515-4144

●この広告は老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険・普通傷害保険)の概要についてご紹介したものです。詳細は、「募集チラシ(平成24年7月1日始期以降用)」「重要事項説明書」ご加入の際の注意事項をお読みください。ご不明な点等がありましたら、取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。全老連保険ホームページ(<http://www.senior-ltd.com/>)でもご確認ください。

12-T-00437 平成24年3月作成